

令和2年度働き方改革推進事業中間報告会（上川管内）

コロナ禍を業務見直しの機会と捉え、働き方改革の一層の推進を！

上川管内における中間報告会は、推進地域（旭川市・美瑛町）の教育委員会関係者、推進校（知新小、美瑛小、旭川西高）の職員の他、管内の学校教育職員や教育委員会の関係者等、約50名（zoom参加者を含む）が参加して10月6日上川合同庁舎204号会議室にて、14時から15時45分まで行われました。

【内 容】

- (1) 推進校3校による中間報告
 - ①校長による学校経営上の位置づけと目標
 - ②推進チーム代表による働き方の現状と改革推進のプロセス、これまでの取組による成果・課題、今後の展望
 - ③質疑応答
- (2) 全体研修（道教委配信の動画視聴）
「改革を成功させる8段階のプロセス」
※マイレボ第24弾（道教委HP）参照
- (3) 働き方改革担当主幹による講評と助言

【ワンポイント】

課題を共有するためにはコミュニケーションの強化が重要！

ひとこと

ポストコロナ期における新たな学びの在り方を確立！

…コロナ禍における新たな日常といった環境のもとで子どもたちに学びを保障するために、働き方改革を確実に進め教育の質を向上させていく必要があります。

知新小 ～働き方改革のキーワード「職務自律性」「対話による全員参画」

- ※2年目 観点1（標準化） 資料のデータ化と蓄積、分掌業務等
 観点2（自動化） QRコードによる出退勤管理（道教委ソフト活用）等
 観点3（外部化） 知新っ子支援ボランティア、スクールサポートスタッフ活用等
 観点4（環境整備） 働きやすい職員室の環境整備、個別に設定する定時退勤日等
 観点5（業務の廃止） マラソンと長縄跳びの廃止、運動会と学芸会の見直し等
- (R1の取組はHPに掲載)

美瑛小 ～校長が見守り、コアメンバーが行動しやすい雰囲気を醸成

- ※1年目 課題意識を高める：外部講師によるRoadを基にした講演（研修）を実施
 コアチームの編成：全教職員によるアンケートを基に、目標（改善テーマ）を設定し、周知・提案（3チームで話し合い）
 各チームで協議：日々の業務の効率化、業務の平準化、会議の改善・効率化毎に優先順位の決定、実践を通して成果を確認し、後期へ引継ぎ

旭川西高 ～教育職員間のコミュニケーションの活性化が働き方改革の大きな鍵

- ※2年目 現在の主な取組：分掌会、学年会の定例化（情報共有、業務の進捗等の確認）
 会議資料のペーパーレス化（効率化）等
 今後の検討事項：部長、主任に集中する業務改善
 担任業務の更なる改善（業務の平準化）
 授業改善に取り組みやすい環境づくり（ICT等も含む）等